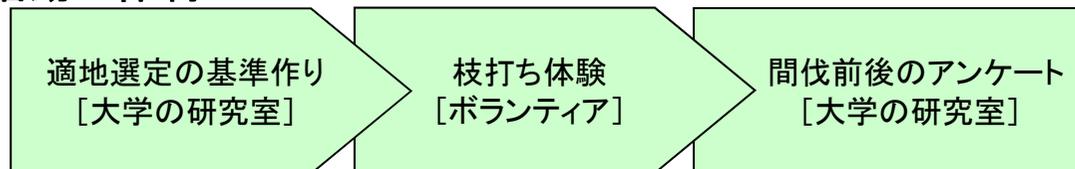


## ①活動概要

沿道のスギやヒノキの一部を伐採することにより、道路からの眺望を改善し、訪れる人が“いい！”と感じる景観作りを行うもの。  
平成18年度には沿道の「景観間伐」を、平成19・20年度には風景を楽しむ「視点場(眺望空間)づくり」をモデルとして取り組みました。

## ②活動の体制



## ③苦勞した点や工夫した点

- ・パートナーシップのメンバーでもある大学の研究室との協力
- ・ボランティアによる枝打ち体験→間伐の効果を実感

## ④活動の効果

- ・うっそうとしていた樹木が間伐によりすっきりし、道路が明るく、ドライバーの見通しも良好になった。
- ・樹木の間から美しい山並みが見え、訪れる人が眺めを楽しめるようになった。



枝打ちボランティア作業風景



景観間伐

## ⑤今後の活動

- ・道の空間を単なる走行通過する空間として景観づくりを行うのではなく、地域と訪れる人とが交流する空間とした風景づくりとして、「視点場づくり」を展開。
- ・大学との連携  
(カリキュラムとして景観調査の実施 等)



駐車と回遊スペースの状況



眺望スペースと景観間伐の状況



問合せ先	担当:NPO森	担当:埼玉県整備政策課	政策形成担当
	電話:0494-54-2636	電話:048-830-5365	